

プレスリリース

ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）の新体制

～オールインクルーシブなスマートライフケア社会の構築を目指して～

- 2021 年度末で COINS が終了し、4/1 付で新体制が発足。
- オールインクルーシブなスマートライフケア社会の構築を目指す。
- 市民の声に耳を傾け、ニーズに応えた研究開発を行うとともに、その社会実装による新産業の創出と市民の科学・健康リテラシーの向上を、川崎市や関連機関との連携により行っていきます。

報道関係者 各位

平素より大変お世話になりましてありがとうございます。

公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター（センター長：片岡一則、所在地：川崎市川崎区殿町、略称：iCONM）は、2013 年に採択された文部科学省 COI プログラムが本年 3 月 31 日付で満了を迎えたことから組織改編を行い、本日付で以下の新しい体制となりましたのでご報告させていただきます。

センター長： 片岡一則（かたおか・かずのり） 留任

副センター長： 永井浩二（ながい・こうじ） 新任

組織的には、片岡センター長が統括する「研究チーム」、永井副センター長が統括する「イノベーション推進チーム」および川崎市産業振興財団が管理する「iCONM 管理部」の各部署が、iCONM にラボを構える企業や大学はもちろん、国内外の研究機関や自治体と産学官連携によるオープンイノベーションを進めます。

・研究チーム： 人々が疾患から解放されていくことで自律的に健康になっていく社会（スマートライフケア社会）の実現を目指し、医学と工学が融合して難治がんやアルツハイマー病等に対する革新的な治療・診断法の研究開発と成果の実用化に取り組んでいます。

・イノベーション推進チーム： 企画、知財、コミュニケーションの機能を持ち、研究成果の社会実装を支援します。

・iCONM 管理部： 経理、労務、購買、施設、設備に関する業務を担います。

また、同じタイミングで川崎市産業振興財団が iCONM で展開するインキュベーション事業によって呼び込む、有望なスタートアップとの連携にも期待しています。センター長の片岡は「新生 iCONM は研究成果を世の中に送り届けるとともに、市民の科学・健康リテラシー向上に貢献し、オールインクルーシブなスマートライフケア社会の構築を目指します」と述べています。

新体制下、iCONM では引き続き大型競争的資金や民間資金の獲得を目指すとともに、川崎市および関連機関との連携により市民ニーズに応える活動を実践し、スマートライフケア社会を実現するための新たな研究開発課題にチャレンジします。また、iCONM の活動範囲は医療・ヘルスケア分野における研究開発にとどまらず、教育分野や産業分野へと広がっています。今後もグローバルに通用する研究センターとして、また世界を代表するイノベーションエコシステムの中核機関として、これまでに築き上げたプラットフォームを活かして、様々なにおける取り組みを積極的に展開します。

尚、報道関係の皆さまのご対応は、イノベーション推進チームの以下の2名が当たらせて頂きますのでよろしくお願いいたします。

島崎 眞： コミュニケーション マネージャー

山本美里： 企画・コミュニケーション担当

E m a i l: iconm-pr@kawasaki-net.ne.jp

センター長・副センター長略歴



片岡一則：

東京大学大学院工学系研究科で工学博士を取得後、東京女子医科大学医用工学研究施設の助手に就任。同学講師、助教授と昇格後、東京理科大学基礎工学部教授を経て、東京大学大学院工学系研究科、そして医学系研究科の教授を併任。退官後は同学名誉教授となり、ナノ医療イノベーションセンターのセンター長に就任する。最終講義のタイトルともなった「越境する好奇心」が示す通り、日本の医工連携を牽引し、ナノDDS 技術を用いた医薬品の選択的送達では、フンボルト賞、江崎玲於奈賞など数々の著名な賞を受賞し、2017 年以来、高被引用論文研究者として5 年間連続で認定されている。



永井浩二：

名古屋大学農学部卒業。農学博士（東京大学）。山之内製薬株式会社に入社し、産業技術総合研究所等に籍を置いて発酵天然物からの創薬研究に従事。アステラス製薬株式会社発足時より、研究所のマネジメント職を歴任。その後、大鵬薬品工業株式会社で研究所長を務め、2019 年5 月より COINS 研究推進チーフコーディネーターとしてナノ医療イノベーションセンターに勤務。

公益財団法人川崎市産業振興財団について

産業の空洞化と需要構造の変化に対処する目的で、川崎市の100%出捐により昭和63年に設立さ

れました。市場開拓、研究開発型企业への脱皮、それを支える技術力の養成、人材の育成、市場ニーズの把握等をより高次を実現するため、川崎市産業振興会館の機能を活用し、地域産業情報の交流促進、研究開発機構の創設による技術の高度化と企業交流、研修会等による創造性豊かな人材の育成、展示事業による販路拡大等の事業を推進し、地域経済の活性化に寄与しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成 27 年 4 月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

2022 年 4 月 1 日